

特定非営利活動法人 ポロクル 団体概要

理事長 萩原 亨

認定NPO法人ポロクルは、都市が抱える社会的問題の解決に向け、自転車の共同利用サービス(愛称ポロクル)事業やその他の活動事業に取り組んでまいります。

市民・企業・学識者や行政、多くの皆様に私たちの目的に賛同し、ご支援・ご協力、また、ご参画して頂きながら、私たちにしかできない札幌の「まちづくり」「ひとづくり」「魅力づくり」に貢献していきたいと考えております。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



役員

理事長	萩原 亨	(北海道大学 大学院工学研究院)
常務理事	安江 哲	(株式会社 北未来技研)
理事	有村 幹治	(室蘭工業大学 大学院工学研究科)
理事	石川 雅也	(一般社団法人 札幌観光協会)
理事	太田 祐司	(株式会社 ドーコン)
理事	加門 清	(公益社団法人 北海道交通安全推進委員会)
理事	草野 竹史	(特定非営利活動法人 ezorock)
理事	熊谷 美香子	(株式会社 ドーコン)
理事	新谷 恵司	(一般財団法人 北海道交通安全協会)
理事	原文 文宏	(一般社団法人 北海道開発技術センター)
監事	高村 亮広	(株式会社 ドーコン)
監事	加藤 恵一郎	(税理士法人 加藤会計事務所)

ポロクルのあゆみ

- 2008 (株)ドーコンによるサイクルシェアリング 社会実証実験スタート
- 2011 (株)ドーコン モビリティデザイン設立 会員登録件数6,000件 突破 EST交通環境大賞奨励賞 受賞
- 2012 第4回さっぽろ環境賞 受賞 環境保全・創造部門札幌市長賞 受賞 土木学会デザイン賞奨励賞 受賞
- 2013 第2回北海道新聞エコ大賞奨励賞 受賞 会員登録件数7,000件 突破
- 2014 会員登録件数9,000件 突破 **特定非営利活動法人 ポロクル 設立** (株)ドーコン モビリティデザインより シェアサイクル運営、その他の事業を引き継ぐ
- 2015 会員登録件数10,000件 突破
- 2016 **9月16日 認定NPO法人取得**
- 2017 **会員登録件数12,000件 突破**
- 2018 国内初・シェアサイクルと公共交通の複合経路検索サービス「mixway」実証実験スタート



あなたとつくるやさしいまち porocle

認定NPO法人ポロクル 団体案内

認定NPO法人ポロクルを応援してください!

私たちの目的や活動事業に賛同してくれたあなた、のご協力や寄付により、ポロクルの活動を継続して広げてゆくことができます。一緒に札幌の『まちづくり・ひとづくり・魅力づくり』に参加しませんか。あたたかなご支援をよろしくお願いいたします。



2016年9月、札幌市より「公益性が高く、運営組織や事業活動が適正である」事が認められ「認定特定非営利活動法人」の認定を受けました。当法人への協賛・寄付(個人・法人)は、寄付金控除や損金算入制限額の枠の拡大など、税制優遇措置が受けられます。

賛助会員になる		寄付をする	ポロクルの活動にご協賛いただいている 法人・団体・個人
会員種別	年会費		
法人・団体	5,000円(1口/1年)		
個人	3,000円(1口/1年)	賛助会員 個人……………136件	
		寄付(法人・団体・個人)……………31件	

2018年3月31日現在



団体名 特定非営利活動法人 ポロクル ※呼称「認定NPO法人 ポロクル」
 事務局所在地 〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4番1号 TEL 011-896-5601
 ホームページ https://porocle.jp/npo_porocle/ FAX 011-896-5602

2018年6月1日 発行



わたしたちの
Vision
「めざすもの」

歩行者・自転車・自動車が
お互いに思いやりを持ち、
安全安心に
笑顔で楽しめるまち

わたしたちの
Mission
「目的」

サイクルシェアリング事業を通して
まちづくり・ひとづくり・
魅力づくり
に貢献

大きな
4つの取り組み

1. 自転車共同利用サービス事業
2. 自転車のルール・マナー、
環境負荷低減に関する啓発事業
3. ホームページなどによる交通安全や
環境保全に関する活動と情報提供事業
4. その他、その目的を達成するために
行う付帯活動事業

2 自転車のルール・マナー、環境負荷低減に関する啓発事業

学生を中心とした若者達が運営

シェアサイクルの運営スタッフ「ポロクルクルー」はNPO法人ezorockとの協働により、毎日の自転車の再配置や点検の際に正しいルールやマナーを実践しています。行動の一つ一つが啓発活動になるという意識を持って、日々の活動に取り組んでいます。



走行時のハンドサインを実践 歩道での押し歩きを実践

交通安全の大切さ

札幌市「さっぽろ自転車押し歩きキャンペーン」にて、自転車の正しい利用方法に関心を持ってもらおうと期間中スタッフが街頭で市民への呼びかけを行っています。また北海道警察からの要請や、自主的に行うイベントなどでも、交通安全の大切さを伝えています。



押し歩き啓発活動の実施(札幌市) 交通安全子供自転車北海道大会(一般財団法人北海道安全協会)

『TOWN PICNIC SAPPORO 2017』

「TOWN PICNIC SAPPORO 2017」では、ゲームを通してバランス感覚や身体能力を養いながら自転車の乗り方を楽しく学んでもらうことを目的とする「デンマーク式自転車教室」を実施しました。参加したたくさんの子供たちが、活き活きと自転車に親しみました。



『新渡戸カレッジ』

北海道大学のグローバル人材育成のためのプログラム「新渡戸カレッジ」。都心交通の現状と課題、解決策を議論する演習の中で、ポロクルの事業や活動、課題解決への取り組みなどを紹介するとともに、現地視察や意見交換、プレゼンテーションのサポート役を担うなどの協力をしました。



1 自転車共同利用サービス（サイクルシェアリング）事業

サイクルシェアリングとは、言葉のとおり自転車を共同利用するサービスのことで、シェアサイクルやコミュニティサイクルとも呼ばれます。一般的なレンタサイクルとは違い、借りた場所に返す必要はありません。私たちが運営している『ポロクル』は、350台の自転車を札幌のまちなかに配置。40カ所以上※あるポート（専用駐輪場）からポートへ、どこでも自由に貸出・返却ができます。ご利用パターンや目的に応じて、いくつかのプランがあります。

※ポート設置数は、各年の状況により若干の変更があります。

<p>一般 買い物や通勤・通学に便利</p> <p>1回プラン 1ヵ月プラン</p> <p>108円/回 1,620円/月</p> <p>※いずれも1回60分以内の利用</p>	<p>法人 営業や外回りなどに便利</p> <p>1回プラン 1ヵ月プラン</p> <p>162円/回 3,240円/月</p> <p>※いずれも1回60分以内の利用</p>	<p>観光 観光やサイクリングに最適</p> <p>1日パス 15時パス</p> <p>1,200円 700円</p> <p>24時間後まで使える 当日15時から21時まで</p>
--	---	--

日常生活の中にポロクルを取り入れることで、時間を有効活用できるようになるのはもちろんのこと、リフレッシュできて健康にも役立ちます。景色や風などを感じて楽しめることから、これまで気づかなかった札幌の新しい魅力を見つけられたという嬉しい声も届いています。



ビジネスシーンで…

観光や散策に…

観光魅力づくり

札幌のまちは、基盤の目状で起伏も少なく初めて訪れた方にも、わかりやすく楽に自転車で移動することができます。また、風土や文化、歴史、ライフスタイルを五感で楽しみながら実感してもらうことができます。

私たちは、もっと札幌の魅力を多くの方に知って欲しいという想いから、ホテルや観光案内所、観光関係機関とも連携し、国内外の方へ、ポロクル観光商品の販売や札幌観光PRを行っています。また、自転車で巡るオスメルートの製作、サイクリングツアーの企画、ちょっと遠いカフェなどと連携し「ピット」を設置するなど、自転車を通して札幌の魅力を掘り起こし、観光まちづくりに貢献したいと考えています。



おスメルートを掲載したサイクリングマップ(日・英)

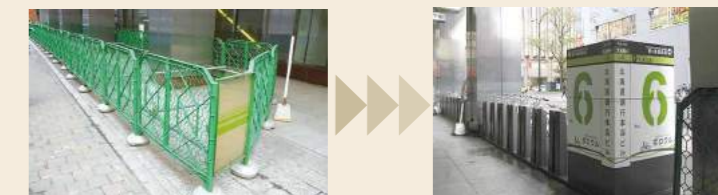
英語・中国語・韓国語に対応したホームページ

英語・中国語・韓国語で説明した「ご利用ガイド」

地域連携

企業との連携や社会実験など、サイクルシェアリング事業を通して地域の課題解決に貢献しています。

■ 放置自転車で困っている企業との連携



バリアードから

ポロクルポートへ

■ 自転車走行環境改善の社会実験に協力

北1条通(国道)の自転車走行空間社会実験(ブルーレーンの設置)に協力。車道側から乗り入れ可能なポートを設置しました。



北1条アーバンネット札幌ビル前南側

3 交通安全や環境保全に関する情報提供事業

自転車のルールやマナー、交通安全や環境保全に関する配布物はもちろん、ホームページやSNS、各メディアを通して積極的に情報提供を行っています。



自主制作した「自転車マナーリーフレット」

自転車放置禁止区域案内(日・英)

<Around JR Sapporo Sta.>

4 その他附帯事業

広告掲載

自転車やポートなどを独自の媒体として広告事業を展開しています。広告と連動した、ユーザー参加型の企業連携イベントを実施。自転車広告と連動して開催したフォトコンテストには、非会員も含めた多数の方々からの応募がありました。



広告と連動したフォトコンテスト

災害協定

札幌市で災害が発生した際の応急・復旧活動支援として、私たちが所有する350台の自転車を無料で職員のみなさまに貸し出す協定を、札幌市および国土交通省と結んでいます。



札幌市と防災協定を締結